

[ゲンロク]

2025
JAN
No.467

1

特別
定価 1210Yen

GENROO

I Love British Cars

奥深き英国車

[新時代の始まり]

アストンマーティン・ヴァンキッシュ&ヴァンテージ

[プライドの行方]

マクラーレン・アルトゥーラ vs アストンマーティン・ヴァンテージ vs ポルシェ911ターボS

アストンマーティンDB12 vs メルセデスAMG GT 63

ポルシェ最新事情

新型911GT3 & 911カレラT / タイプ992GT3 RS vs タイプ993 RS

ブガッティ・トゥールビヨン日本上陸

特選ショップ全国編





HYPER FORGED ESR

WINS FACTORY Lamborghini Aventador SVJ Roadster

伝家の宝刀

ジャパン・コーデイナー極まる

瞬 時に周囲の空気を一変させてしまうほどのオーラが今でも忘れられない。現役を退いた今となっても「ザ・スーパーカー」として永遠に色褪せない魅力を持つアヴェンタドールにして、しかも最高出力770PSもの強心臓を持つSVJロードスターである。ストックの状態ですら誰もが振り向くような存在なのに、この個体はランボルギーニのオーダーメイドシステム「アドベルソナム」を駆使したゴールド調のブルゾンザンテで彩られ、ルーフを始め随所がカーボン素材へ。華麗な色味ながらも硬派な雰囲気が残る絶妙なコーデイナーだ。

このコーデイナーを実現するにあたって、アドベルソナム以上に活躍したのが、卓越したオナー氏のセンスと、そこに寄り添い、高い技術でモノにしていたウインズファクトリーである。オナー氏は過去に数台ものランボルギーニを乗り継いできた強者で、派手になりすぎず、そこはかとなく自分の個性と主張を加えるのが得意だという。今回もウインズファクトリーを含めて手腕がきっちり発揮されたようだ。

全身くまなく敷き詰められるボディパーツは、すべてが純正ではない。カーボンラッピング



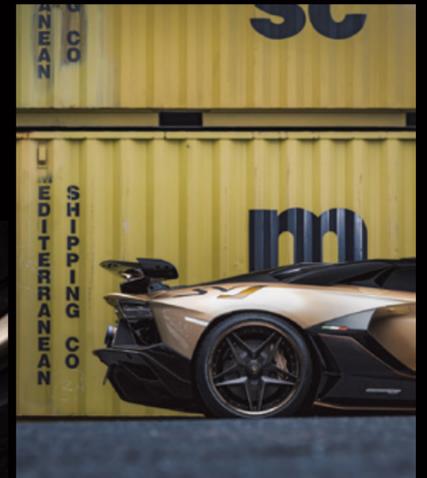
正式名称はLP770-4SVJロードスター。2018年に発売されたホットモデルで、1700台(クーペ900台、ロードスター800台)の限定生産だけに、その価値は永遠だと言える。

グを駆使して統一感を持たせた。さらにエッジ部分にボディカラーと同系色のラインを入れて、その鋭利な造形を引き立てている。ミラーやエンブレムの処理など、どこをとっても抜かりのない仕上げである。一見、派手になりがちなデザインとボディカラーであっても、イタリア国旗を模したエンブレム以外はすべて「黒

×ゴールド」という2色に抑えることで、落ち着いた雰囲気を持たせている。

だからこそホイールもそのルールを逸脱してはいけない。として選んだのがハイパーフォージドのESRである。かねてよりハイパーフォージドは日本中のビルダーたちと協力しながらランボルギーニへのマッチングに力を注ぎ、今では定番として知られている。だからこそ、こうしたモダンランボルギーニやポルシェを狙い撃ちしたかのようなセンターロックモデルが存在する。

今回、ディスクはブラッシュド・



インナーリムおよびディスクをブラックアナダイズドで落とし込み、アウターリムのみポリッシュド・ブロンズアナダイズドとしてボディカラーと調和させた。ピアスボルトやセンターキャップも同系色で統一している。ディスクの細部に寄ると、切削鍛造っぽい質感が浮かび上がってくる様子が実に美しい。特にリヤは13.5Jのディープコンケープだけにその立体感が強調される。

アナダイズドブラックで落とし込みながら、アウターリムにポリッシュド・アナダイズドブロンズとしたことでボディカラーと調和させた。アナダイズド(アルマイト)は、アルミの表面を陽酸化させることで硬度を高める金属処理の一種だ。表面にできる無数の孔(窪み)に塗料を流し込み封孔処理することで着色するという。これで独特の風合いを持たせることができるほか、通常のペイントよりも高い耐久性が得られる。実際、この奥ゆかしきブロンズがボディカラーときっちり調和する。走っているだけでも、リムがわずかに主張してくるあたり色気も感じる。

色味もさることながら、何よりも調和しているのは、サイズマッチングであり、そしてSVJを受け止めるに相応しい性能。だろう。持ち込んだサイズはフロント9・5J×20インチ、リヤ13・5J×21インチ。純正に比べて、前後とも0・5J太いことになる。タイヤは純正と同じくF:255/30ZR20、R:355/25ZR21のピレリPZERO。

これだけの太さを持つがゆえ、セミコンケープ形状となるフロントと、ディープコンケープのリヤでは、また異なる印象を訴えかけてくる。特にリヤはその立体感が特徴的で、そうした意味でアヴェンタドールSVJは、ESRのデザイン性を引き出す格好のモデルだとも言える。

世界で最も華やかで、迫力があった、そして実際に高性能なアヴェンタドールながら、能ある鷹は爪を隠すかのごとく、その主張を抑えた通好みの仕上げができたのは、ハイパーフォージドを中心とした日本のサイドパーティのきめ細かい手腕が遺憾なく発揮されたからこそ。この奥ゆかしきSVJロードスターを前にすると、ザ・イタリアンスーパーカーにして、同時に日本の国宝のような存在だと思えた。



排気系はパワーラフト製のハイブリッドエキゾーストシステムに変更している。ハイパーフォージドと同じく、メイド・イン・ジャパンの最高峰技術を持つブランドである。

→ボディパーツはカーボンラッピングを施工し、エッジ部分にボディカラーと同系色の色味を加えた。まるでリアルカーボンと遜色のない仕上げで、純正のカーボン部分と調和する。



HYPERFORGED

For The Ultimate Performance and Superior Style

Built to inspire

Innovative design and high standard defines HYPERFORGED WHEELS.
Nothing is compromised in the making of these highquality wheels and it shows.
Travel in style with HYPERFORGED.

Made in Japan



ESR® centerlock
Disc finish: Brushed Gold Anodized Rim outer finish: Polished Gold Anodized Rim inner finish: Black Anodized
F: 9.5Jx20 SemiConcave R: 13.5Jx21 DeepConcave
Lamborghini Aventador SVJ
Special thanks : WINS FACTORY

ESR Concave Series
Centerlock



AVAILABLE DIAMETERS
20 21 22



ESR Concave Series



AVAILABLE DIAMETERS
20 21 22



HYPERFORGED

WWW.HYPERFORGEDWHEELS.COM
TEL 072-256-6664
FAX 072-256-6444
HYPER FORGED ALLOY WHEELS inc.